入省までのスケジュール

●東北地方整備局の職員になるためには、人事院が行う国家公務員採用試験（一次・二次）に合格することが第一歩となります。

一般職試験（大卒程度試験）

	東北地方整備局	人事院
2		試験申込 2月19日(木)～3月23日(月)
5		第一次試験 5月31日(日)
6	官庁訪問申込み開始 6月24日(水)～	人事院一次合格発表 6月24日(水)
7	官庁訪問 7月上旬～ 仙台で実施予定	第二次試験 7月8日(水)～7月24日(金)
8	採用内々定 8月12日(水)～	人事院最終合格発表 8月12日(水)
9		
10	採用内定 10月1日(木)	
4	入　省 国土交通省東北地方整備局	

一般職試験（高卒者試験）

	東北地方整備局	人事院
6		試験申込 6月12日(金)～6月24日(水)
9		第一次試験 9月6日(日)
10	官庁訪問申込み開始 官庁訪問 仙台・盛岡で実施予定	人事院一次合格発表 10月8日(木) 第二次試験 10月14日(水)～10月23日(金)
11	採用内定 11月	人事院最終合格発表 11月17日(火)
4	入　省 国土交通省東北地方整備局	

国土交通省 東北地方整備局

〒980-8602　仙台市青葉区本町3丁目3番1号　仙台合同庁舎B棟

TEL.022-225-2171（代表）

◆行政系　総務部人事課：thr-82jinji@ki.mlit.go.jp
◆技術系　企画部企画課：thr-kyousyuu@ki.mlit.go.jp

東北地方整備局　採用　検索

●東北地方整備局SNS各種



※地下鉄（南北線）勾当台公園駅北2出口より徒歩3分

入省案内 2027

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

TOHOKU







国土交通省 東北地方整備局



東北の安心をかたちにする

道路や河川、港湾など、東北の暮らしの安全を守るインフラを整備。人々が安心して暮らせる社会を支える仕事です。



新たな土地で、新しい挑戦を！

さまざまな地域や現場を経験することで、多角的な視点や実践力が身につきます。転勤を通じた経験は、職員一人一人の成長を支え、将来のキャリア形成にもつながっていきます。



東北をつくり支える、誇れる仕事

大規模なインフラ整備を通じて地域の発展を支えています。自分の関わった仕事が、地図に残り、地域と一体となっていくことを実感できる。それがこの仕事のやりがいです。



働き続けられる環境をサポート

安心して働き続けられるよう、充実した福利厚生と制度で、働きやすい環境を整備。仕事と生活の両立をサポートします。



災害に立ち向かう確かな技術力

最新の技術と経験を活かした迅速かつ的確な対応により、地震や豪雨などの自然災害から、東北の暮らしを守り続けます。

東北のためになるやりがいのある仕事、充実したプライベート、あなたも東北地方整備局の一員になりませんか?

Contents

P3-4 東北地方整備局の組織概要
P5-6 整備局のミッション
P7-14 東北地方整備局の仕事
- P10 河川
- P11 道路
- P12 港湾空港
- P13 機械／電気・情報通信
- P14 営繕／公園・都市・住宅

P15-18 共通テーマ
- P15 災害対応
- P16 震災伝承
- P17 豊かな東北の実現
- P18 インフラDX

P19-20 仕事の流れ
P21-22 若手職員ボイス／若手職員のある1日
P23-24 キャリアパス
P25 ワーク・ライフ・バランス
P26 人材育成（研修）
P27-28 東北地方整備局職員採用Q&A
P29 採用関係イベント
P30 試験区分
P31 入省までのスケジュール

東北地方整備局の組織概要

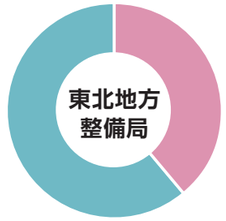
東北6県をフィールドとした 国土交通省の一員

組織概要

国土交通省

- 東北地方整備局
  - 本　局
  - 事務所・管理所
  - 出　張　所
- 関東地方整備局
- 北陸地方整備局
- 中部地方整備局
- 近畿地方整備局
- 中国地方整備局
- 四国地方整備局
- 九州地方整備局

人員構成



■事務系職員
約1,100人(約4割)

■技術系職員
約1,600人(約6割)

国土交通省	約6万人
全国の地方整備局	約2万人
東北地方整備局	約2,700人

令和8年4月1日現在

本局

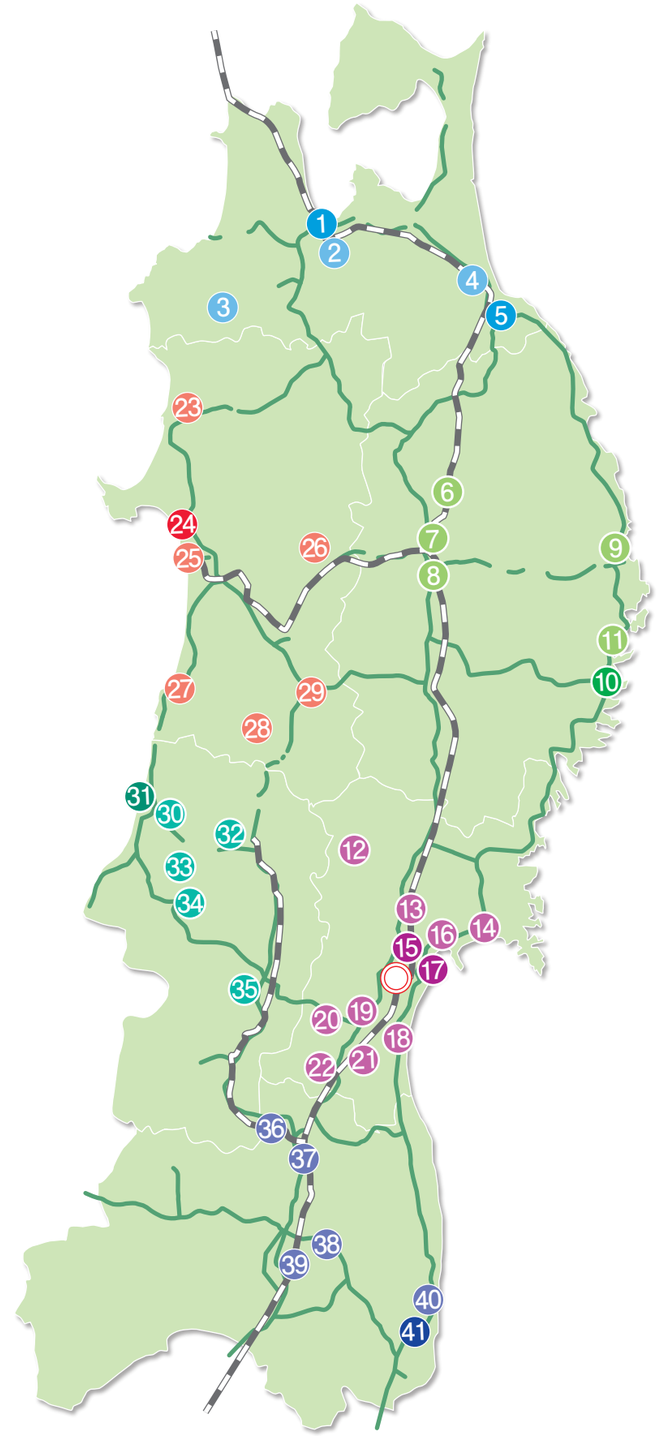
防災グループ	防災室、災害対策マネジメント室
総　務　部	人事課、総務課、会計課、契約課、 厚生課、人事厚生室、経理調達課
企　画　部	企画課、広域計画課、技術管理課、 施工企画課、情報通信技術課
建　政　部	計画管理課、建設産業課、 都市・住宅整備課
河　川　部	水政課、河川計画課、地域河川課、河川環境課、 河川工事課、河川管理課、水災害予報センター
道　路　部	路政課、道路計画第一課、道路計画第二課、 地域道路課、道路工事課、道路管理課、 交通対策課、高規格道路管理センター
港湾空港部	港政課、港湾管理課、港湾計画課、港湾事業企画課、 港湾空港整備・補償課、海洋環境・技術課、 港湾空港防災・危機管理課、クルーズ振興・港湾物流 企画室、工事安全推進室、品質確保室
営　繕　部	計画課、調整課、整備課、技術・評価課、 保全指導・監督室
用　地　部	用地企画課、用地補償課、用地対策課

事務所

総　務　課	事務所の一般受付窓口、職員の福利厚生に関する事務、総務関係事務
経　理　課 品質管理課	予算及び財産の管理、工事・設計・物品購入等の契約及び支払
用　地　課	事業に関する土地の取得、物件移転等の補償
工　務　課	河川改修・ダムの建設・砂防施設整備・海岸保全施設整備・道路の改築・災害復旧工事等に関する設計・協議・工事発注・施工管理 港湾の整備及び保全に関する工事、空港等の土木施設整備
計　画　課	広報広聴・地域づくりに関する業務、土木技術者の養成
品質確保課	入札及び契約の技術的審査、工事の検査
流域治水課 調　査　課 企画調整課	流域治水の推進、河川・ダム・砂防・海岸に関する調査・計画、洪水予報の水防警報の発表 道路に関する調査・計画 港湾等の整備及び保全に関する調査・計画
管　理　課	河川の占用・水利権及び道路に関する許認可、河川・道路の維持管理、ダムの操作、ダムの維持管理、放流に関する通知等、砂防・海岸に関する各種協議、交通安全対策等
防　災　課	防災に関する計画の策定、災害対策用機械・建設機械・機械設備・電気通信設備の整備・運用・維持管理
出　張　所 ダム管理支所	河川・ダム・砂防・海岸・道路の現場の維持管理、港湾等の工事の実施、ダムの操作、放流に関する通知等

■：主に事務系職員のいる部署　■：主に技術系職員のいる部署

6県で活躍する事務所・管理所



事務所一覧

■事務所・管理所42ヵ所（道路メンテナンスセンター含）
■出張所90ヵ所
令和8年4月1日現在

青森県
- ① 青森港湾事務所
- ② 青森河川国道事務所
- ③ 岩木川ダム統合管理事務所
- ④ 高瀬川河川事務所
- ⑤ 八戸港湾・空港整備事務所

岩手県
- ⑥ 北上川ダム統合管理事務所
- ⑦ 岩手河川国道事務所
- ⑧ 盛岡営繕事務所
- ⑨ 三陸国道事務所
- ⑩ 釜石港湾事務所
- ⑪ 南三陸沿岸国道事務所

宮城県
- ◎ 東北地方整備局（本局）
- ⑫ 鳴子ダム管理所
- ⑬ 鳴瀬川総合開発工事事務所
- ⑭ 北上川下流河川事務所
- ⑮ 仙台港湾空港技術調査事務所
- ⑯ 東北技術事務所
  東北道路メンテナンスセンター
- ⑰ 塩釜港湾・空港整備事務所
- ⑱ 仙台河川国道事務所
- ⑲ 釜房ダム管理所
- ⑳ 東北国営公園事務所
- ㉑ 宮城南部復興事務所
- ㉒ 七ヶ宿ダム管理所

秋田県
- ㉓ 能代河川国道事務所
- ㉔ 秋田港湾事務所
- ㉕ 秋田河川国道事務所
- ㉖ 玉川ダム管理所
- ㉗ 鳥海ダム工事事務所
- ㉘ 湯沢河川国道事務所
- ㉙ 成瀬ダム工事事務所

山形県
- ㉚ 酒田河川国道事務所
- ㉛ 酒田港湾事務所
- ㉜ 新庄河川事務所
- ㉝ 月山ダム管理所
- ㉞ 最上川ダム統合管理事務所
- ㉟ 山形河川国道事務所

福島県
- ㊱ 摺上川ダム管理所
- ㊲ 福島河川国道事務所
- ㊳ 三春ダム管理所
- ㊴ 郡山国道事務所
- ㊵ 磐城国道事務所
- ㊶ 小名浜港湾事務所

整備局のミッション

災害に備え、強靱な国土を構築し、豊かな東北を実現する

近年、地震や豪雨など自然災害が頻発化・激甚化しています。東北地方も、多くの自然災害のリスクを抱えており、平時から災害に備え、地域の安全と暮らしを守るための取り組みがますます重要となっています。

東北地方整備局では、自然災害による被害を最小限に抑え、社会の機能を維持・回復できる強靱な国土を構築する『国土強靱化』に取り組んでいます。

私たちは、この国土強靱化の取り組みを通じて、地域の安全・安心を支え、人々が将来にわたって安心して暮らせる『豊かな東北』を実現することを使命としています。

地域の安全・安心を守る

暮らしの土台となる河川や道路、港湾など社会基盤を整備し、地域の安全と安心を支えること。

地域ごとに異なる自然条件や課題に向き合いながら、災害に強いインフラ整備を進めるとともに、万一の際には迅速な対応により早期復旧を図ります。当たり前の暮らしが、当たり前であり続ける。その責任を担っています。

強靱で持続可能な社会基盤を整備する

インフラには、暮らしや産業を支えるとともに、何十年先、何世代先まで、安全に利用できることが求められます。

東北地方整備局は、計画的な点検・修繕・更新に加え、DXの推進や新技術の活用により、インフラの維持管理を高度化・効率化し、将来にわたって安全・安心な東北を支えていきます。

東北の産業・経済を支える

インフラは、人や物、情報の流れを生み出し、地域経済の基盤を形づくります。

広域的に整備される社会基盤は、企業活動や物流を支え、東北全体の産業と経済の発展を後押ししてきました。

一つ一つの事業がもたらす影響は大きく、その効果は地域を越えて広がり、東北の成長を長期にわたって支え続けます。

地域とともに、魅力ある東北をつくる

東北の魅力は自然や文化、そして地域に根ざした暮らしの中にあります。

インフラ整備は、そうした暮らしを支えるとともに、人や地域を結び、新たな賑わいを生み出します。

東北地方整備局は、地域の声に向き合い、ともに考え、整備の効果が確かな形で暮らしに届くよう、地域とともに歩んできました。

インフラを単なる構造物として終わらせるのではなく、東北の未来を造る力として最大限に活かす。

私たちは、人と地域を結び、東北で暮らす人々の笑顔を守りながら、魅力ある東北を実現していきます。

東北地方整備局の仕事

道路

東北の将来を見据えた道路の整備により、広域的な人流・物流をつなぎ、地域の産業、観光を支えます。

また、適切に点検修繕等を行い、道路を良好な状態に保ち安全・安心な道路交通を確保します。

都市・住宅

人口減少・少子高齢化社会に対応しながら、東北地方を一層安全で魅力・活力のあるものとするため、地方公共団体などが実施するまちづくり・住まいづくりの計画策定や事業の支援を行っています。

河川

洪水・高潮などによる浸水被害や土砂災害等の防止・軽減、水資源開発、にぎわいのある水辺空間の創出等を目的として、河川・ダム・砂防・海岸の調査・設計、各種設備の整備、維持管理、補修等を行います。

機械

インフラが安全に機能するよう、河川用ゲートやダム管理設備、トンネル設備などの機器設備の整備を行っています。また、河川や道路を良好な状態に保つため、建設機械を導入し、運用しています。

電気・情報通信

河川や道路などのインフラ施設の安全・確実な利用、また、災害などの状況把握、被害の軽減や早期の復旧を円滑に実施するため、通信施設、情報システム、電力システムなどの情報通信施設を整備・維持管理します。

公園

国営みちのく杜の湖畔公園の運営管理や老朽化対策を行うとともに、東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手・宮城・福島の各県に設置される国営追悼・祈念施設の整備及び管理を行っています。

港湾・空港

日本と海外を結ぶ玄関口として物流・人流の拠点であり、私たちの生命・財産を守るとともに、東北地方の経済成長や国際競争力の強化に向けて必要不可欠なインフラである港湾・空港の整備を行っています。

営繕

大規模災害の発生に備え、防災拠点となる官庁施設を整備するほか、既存の官庁施設の老朽化対策を行い、トータルコストの縮減をします。

また、新たなまちづくり空間やにぎわいの創出等により地域活性化に貢献するとともに、脱炭素社会の実現に向けて、省エネ性能の高い施設整備を推進します。

東北地方整備局の仕事

私たちが手がける「つくる仕事」は、整備したその先にある人々の暮らしや、地域の未来を支える仕事です。インフラは、人と人、地域と地域をつなぎ、地域の賑わいを生み出す社会の基盤。なくてはならない存在として、毎日の当たり前の暮らしを支えています。



インフラは
人と地域をつなぐ

災害から暮らしを守る盾
整備することで安全な
毎日を支える





適切な維持管理で
持続可能な地域を支える

インフラは
経済と文化の土台
インフラ整備で地域の
賑わいが生まれる





河川は、自然が生み出した大切な環境であることを踏まえ、その環境を適切に保全し、水道、工業、農業用水等の水源として社会経済を支えるとともに、大雨や台風による災害を防止して安全で安心できる社会を実現します。



三原（みはら） 魁人（かいと） 2024年入省 仙台河川国道事務所 流域治水課

河川分野では、水害から地域を守るため、河川の調査・計画から工事、維持管理まで一体的に取り組んでいます。私は流域治水課で、宮城県を流れる名取川水系と阿武隈川水系の整備のための計画策定や、治水対策を住民に伝える出前講座を担当しています。川の整備や防災対策は、大雨のときに被害を防ぐ重要な役割を果たします。自分の業務が、地域の安全や日々の暮らしを守ることにつながっていることを実感できた時、大きなやりがいを感じます。

また、自分の携わる一つ一つの仕事が大きな事業へとつながり、完成した現場を見たときに、「この仕事に係わることができて良かった」と感じることができるのがこの仕事の魅力であり、やりがいです。



堤防を整備し、越水等による家屋浸水を防止



ダム整備により大雨による洪水流を軽減するとともに、上水道や灌漑用水への利水等も図る



土砂等をせき止め、土砂災害による被害を抑制



巡回、定期的な点検、維持・補修を適切に行い河川施設を健全に保つ

整備局の仕事 道路



三陸沿岸道路気仙沼湾横断橋（宮城県気仙沼市）

道路は人や地域をつなぎ、日常生活や観光等の人の移動と生活物資や農林水産品、工業製品等のモノの輸送を支えるとともに、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動等を支える環境を創出します。



瀬倉（せくら） 英（あや） 2024年入省 岩手河川国道事務所 工務第二課

道路に関して、受注者の方々と協力しながら計画・工事・維持管理まで一連の業務を広く監督し、安全で円滑な交通を支える仕事をしています。私は、岩手河川国道事務所で、国道4号と46号の、新しく道路を造る際の工事の金額を算出する「積算」業務に携わっています。どんな仕事でも共通することですが、業務で分からないことを理解して関係者に分かりやすく伝えるというコミュニケーションが、いつも大変だと感じています。しかし、仕事で知識を身に付け、あらためて外を歩いた際、その土地の道路整備の良いところ・悪いところがみえたとき、技術者として成長を感じます。



遊佐象潟道路（秋田県にかほ市）
東北のくらしを支える幹線道路を整備し、安全・安心な交通を確保



ゾーン30プラス（青森県三戸郡田子町）
生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間を整備



国道108号（宮城県大崎市）
良好な景観、地震や台風などの災害に強い道路の整備



国道112号 大暮橋（山形県西村山郡西川町）
巡回、定期的な点検及び補修を行い、安全・安心な道路交通を確保

整備局の仕事 港湾空港



仙台塩釜港 仙台港区（宮城県仙台市）

四方を海に囲まれ、臨海部に人口や資産等が集積する日本は、貿易量の99.5%が港湾を通じた海上輸送で輸出入されています。港湾は、海上輸送と陸上輸送の結節点として物流や人流を支える交通基盤であるとともに、産業活動の発展や国際観光の振興、災害時の防災拠点として大きな役割を果たしています。



田村（たむら） 佳弘（よしひろ） 2019年入省 青森港湾事務所 工務課

港湾分野では、岸壁や防波堤など港湾施設整備に関する業務を行っています。私は、青森港湾事務所の工務課に所属し、事業の実施計画や関係者との調整、予算管理を行っています。現在、青森港では洋上風力の基地港湾整備事業が最盛期を迎えております。想定外の出来事が起こることもありますが、実施計画を立案し、決められた予算、工期、現場条件などの制約がある中で、工事が無事完了したときにやりがいを感じます。この事業は、地元経済を支え、エネルギー拠点整備としての大規模プロジェクトであり、地域に貢献できる大きな使命感も感じています。



酒田港（山形県酒田市）
国際物流に対応した岸壁等の港湾機能を確保



小名浜港（福島県いわき市）
港内の静穏性を確保し、航行船舶の安全を確保するための防波堤を整備



釜石港（岩手県釜石市）
大規模災害の発生に備え、港湾を利用した防災・緊急物資輸送の拠点を確保



仙台空港（宮城県名取市、岩沼市）
空港整備により、人流や観光を活発化し地域経済へ寄与

整備局の仕事 機械



インフラの要
機械技術で地域の未来と命を守る

災害対策用機械（宮城県多賀城市）



2023年入省
岩木川ダム
統合管理事務所
浅瀬石川ダム
管理支所
打越（うてつ） 千紗（かずさ）

機械職は、ダムの水門やトンネル内の換気設備など、インフラを安全に動かす機械設備の整備を行う職種です。完成した設備は適切な維持管理を行います。また、建設機械の開発や維持管理を通じて、地域の安全・安心を支える重要な役割も果たしています。私の所属する浅瀬石川ダム管理支所では、洪水などで放流が必要となった際、速やかに放流できるよう、放流設備の維持管理（点検・整備）を行っています。有事の際、自ら維持管理している設備や建設機械を運用し、地域の防災・減災に貢献できたときにやりがいを感じます。

機械設備、建設機械の整備を通じて、地域の安全・安心を守り、
便利で豊かな暮らしの実現に貢献します。



水門設備（山形県鶴岡市 月山ダムコンジットゲート）



トンネル換気設備（山形県鶴岡市）



除雪機械（山形県西村山郡西川町国道112号）



災害対策用機械（宮城県大崎市多田川）

整備局の仕事 電気・情報通信



安心・安全を守る情報を途絶させない
ICTでインフラを支える

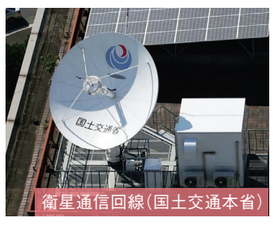
筧岳無線中継・レーダ雨量観測所（宮城県遠田郡涌谷町）



2025年入省
山形河川国道
事務所
防災課
大竹（おおたけ） 梨湖（りこ）

電気・情報通信分野では、国道・河川・ダムに設置されている光回線、道路照明、監視カメラなどの電気通信設備の整備や維持管理を行っています。これらの設備は、安全で安心な社会を支えるインフラの重要な一部であり、施設の安定運用や災害時の情報伝達にも欠かせません。私は防災課で、電気通信設備の維持管理に関する工事の発注手続きや工事監督を担当しています。覚えることはたくさんありますが、地域の安全を守る基盤づくりに直接関わることができ、社会全体のために働けていることがやりがいです。

災害に強い通信ネットワーク整備、インフラの監視制御、
ＡＩなどのＩＣＴ技術活用と情報セキュリティ確保に取り組みます。



衛星通信回線（国土交通本省）



映像事象検知システム（岩手県岩手郡雫石町国道46号）



ダム操作制御設備（浅瀬石川ダム）



トンネル非常用設備（E45三陸縦貫自動車道）

整備局の仕事 営繕（建築×電気×機械）



魅力ある官庁施設をめざす

仙台合同庁舎B棟（宮城県仙台市）



2023年入省
営繕部整備課
赤間（あかま） 茉理奈（まりな）

営繕部では、官庁施設について企画立案から、設計、積算、施工、保全の指導に至るまで、一貫して取り組んでいます。その中で整備課は、官庁施設の設計に関する仕事を行っており、私は現在、福島県浪江町に研究施設を整備する大規模プロジェクトに携わっています。行政を担うために欠かせない庁舎に加え、今後の東北、そして国の活動を支えていく建物の整備に関われることが一番のやりがいだと感じています。他省庁との打合せや調整の機会も多く、若手職員ながらに、営繕職員の一員として官庁施設の整備に携わっている実感を持てる職場です。

国家機関の建築物（官庁施設）である、合同庁舎等の整備や保全指導を行います。



災害対策室（仙台合同庁舎B棟）



災害対策用ヘリポート（仙台合同庁舎B棟）



鶴岡第2地方合同庁舎（山形県鶴岡市）



福島第二合同庁舎（福島県福島市）

整備局の仕事 公園・都市・住宅



東北のまちづくり・住まいづくりを支援

国営みちのく杜の湖畔公園（宮城県柴田郡川崎町）



木伏緑地整備事業（岩手県盛岡市）
Park-PFIを活用した公園整備への支援



桜橋館（秋田県大館市）
街なみ環境整備への支援

国営公園整備のほか、活力あるまちづくり、安全・安心な住まいづくりを支援します。



東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記録と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、国営追悼・祈念施設を整備。

高田松原津波復興祈念公園
国営追悼・祈念施設
（岩手県陸前高田市）



空き家活用への支援（改修後）
（山形県村山市）



共通テーマ 災害対応

詳しくはこちら

頻発化、激甚化する自然災害に対し、TEC-FORCEが被災自治体を支援

TEC-FORCE（テック フォース）とは

災害発生時に被害状況の迅速な把握、被害の発生および拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援。

国土交通省 TEC-FORCE Technical Emergency Control FORCE

日常の業務で培った、河川や砂防、道路、港湾などの専門知識を有するTEC－FORCEが被災状況調査や応急復旧などで被災自治体を支援します。

被災状況調査



被災した河川、道路などの被災状況を調査



ドローンを活用した被災域調査



防災ヘリからの状況調査・記録

応急復旧支援



災害対策緊急車両などによる被災自治体の応急復旧支援

災害対策本部



災害対応の総指揮やTEC-FORCE活動の後方支援

山形河川国道事務所
保全対策官
台野 正樹



平成30年7月豪雨では岡山県倉敷市へ、令和6年1月1日に発生した能登半島地震では石川県穴水町へと2度のTEC-FORCEの派遣を経験しており、能登半島地震では道路の被災状況調査班の班長として、現地で被災箇所の調査・計測、当面の復旧方法等の検討を行いました。東日本大震災の災害対応の経験を生かして、被災した地域の方々の心情に配慮しながら迅速な調査を心掛けました。現地での作業は大変なこともありますが、地域の方々から感謝の言葉をいただくこともあり、大きな励みになりました。



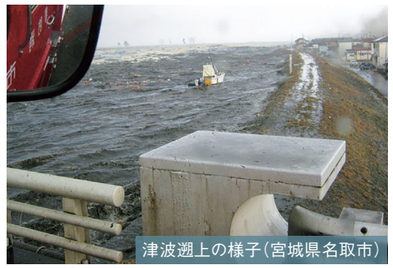
共通テーマ 震災伝承

詳しくはこちら

「千年に一度」と言われる大災害を後世に伝え将来の災害に備える

2011年3月11日に発生した東日本大震災の記憶、震災直後から復興までの取り組みや東北地方整備局が得た知見と技術を風化させず、後世に伝える取り組みをしています。

被災（被災した様子）～復旧・復興（事業完成）



津波遡上の様子（宮城県名取市）



被災後の様子（宮城県名取市）



復旧後の様子（宮城県名取市）

震災伝承の活動



震災伝承施設の登録





イベントやパネル展を通じた伝承の取り組み

企画部
震災伝承推進官
熱海 裕章



東日本大震災は「千年に一度」と言われる未曾有の災害でした。東北地方整備局は、その事実・記憶・経験・教訓を次世代へ確実に引き継ぎ、未来の命を守ることを使命としています。被災地から教訓を発信し続けることは責務であり、私たち東北地方整備局にとってもとても重要な役割です。災害は、いつ、どこで起きるか分かりません。そのため、一人ひとりが災害を「自分ごと」として捉え、日頃の備えや行動につなげていくことが大切です。だからこそ、私たちは、震災の記憶を風化させず、教訓を未来へ伝えていくとともに、防災意識の向上に取り組んでいます。こうした活動を通じて、将来の災害に十分に備えられる社会づくりを進めています。

共通テーマ 豊かな東北の実現

詳しくはこちら



インフラを地域の新しい魅力や活動を生み出す場として活用し、
賑わいと交流、産業の発展につなげ、豊かな東北の実現を目指しています。

インフラをきっかけとした地域の賑わい



水辺で乾杯 in 江合川（宮城県大崎市）



はたらく車大集合（山形県山形市:国道112号）


クルーズ船出港時のセレモニー（岩手県宮古市:宮古港）


道の駅「もりおか渋民」（岩手県盛岡市）



東北中央自動車道下院内IC～雄勝こまちIC開通（秋田県湯沢市）

インフラツーリズム　インフラが持つ観光資源としての魅力を地域と連携して引き出す


鳴子ダムすだれ放流ライトアップ（宮城県大崎市）


長井ダム水陸両用バス（山形県長井市）

共通テーマ インフラDX

詳しくはこちら

国土交通省東北地方整備局

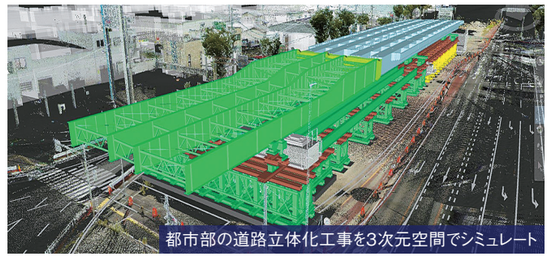
DX

デジタル・トランスフォーメーション

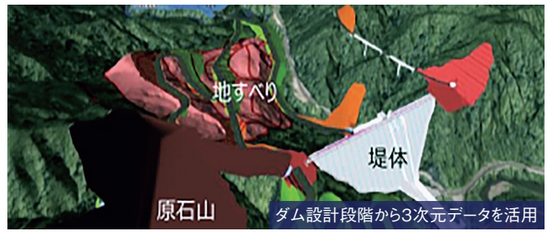


データとデジタル技術を効果的に活用した新たな働き方を創出することで、建設業全体の働き方を変革し、
安全・安心で豊かな生活を実現するため、「インフラ分野のDX」を推進しています。

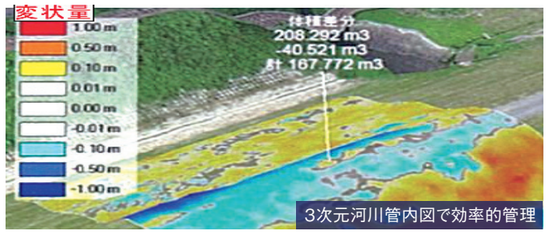
東北地方整備局のDX実例　調査・設計・施工・維持管理など多様な場面でDX技術を活用し、業務を効率化


都市部の道路立体化工事を3次元空間でシミュレート


カメラ映像のAI解析で交通分析



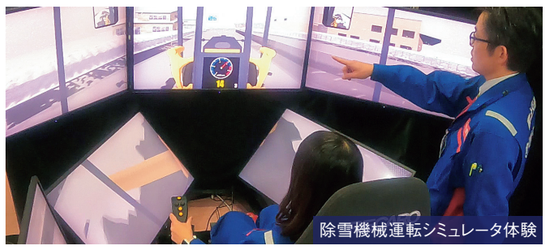
ダム設計段階から3次元データを活用



3次元河川管内図で効率的管理

DXに対応できる人材育成の拠点「東北インフラDX人材育成センター」


インフラDX研修


除雪機械運転シミュレータ体験

仕事の流れ

事務系職員と技術系職員が連携しながら業務を進めていきます。

仕事が繋がり、プロジェクトは進む

技術系　事務系



調査・計画

- 社会ニーズや課題に対応した計画の策定
- 地形・地質・環境などの基礎データ調査

流域治水課、調査課



用地取得・補償

- 事業用地確保のための交渉・協議
- 用地取得後の手続き

用地課



設計・積算

- 施設の設計
- 関係機関との調整・協議
- 工事の積算

工務課



入札・契約

- 工事の発注
- 契約や支払い事務

経理課



工事・監督、検査

- 工事の指導・監督、地元や関係機関との調整

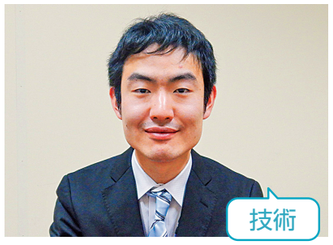
工事課・出張所



維持・管理

- 河川・道路等の日常点検や維持修繕
- 河川・道路等の許認可事務

管理課　出張所



技術

新庄河川事務所 流域治水課

二階堂 拓海（2024年入省）

仕事の内容

流域治水課では、堤防や砂防堰堤などの工事を進める際に欠かせない、地形・地質・環境といった基礎データの調査を行い、その結果をもとに安全で効果的な整備計画を策定しています。また、災害に備えて地域住民が自発的に避難行動が取れるように勉強会を開催したり、実際に大規模な災害が起こった際には現場の被害調査などを行っています。

仕事のやりがい

調査や計画といった大規模事業の基礎となる仕事を通じて、頻発する災害から暮らしを守るインフラ整備に携わっています。また、防災に対する知識の普及や意識付けにも取り組み、地域に貢献できることにやりがいを感じています。

仕事のモットー

様々な分野の知識を積極的に学び、メリハリを付けて仕事に取り組むこと！



事務

北上川下流河川事務所 用地第二課

豊田 那緒（2024年入省）

仕事の内容

私は、堤防や遊水地などの事業に必要な用地の取得業務に携わっています。事業を進めるためには「土地（用地）」が必要不可欠であり、事業に必要な土地をお譲りいただくための用地交渉を行ったり、買収地の価格を算出するため「土地評価」というものを行ったりしています。用地課は住民の方々と接することが多く、事務系の中でも現場に出向く機会が多いことも一つの魅力です。

仕事のやりがい

自分が用地交渉を行い取得した場所が、これから地域の安全を守ることに繋がっていくことを考えると、非常にスケールの大きい仕事に携わっていることにやりがいを実感しています。

仕事のモットー

「桜梅桃李」という言葉を大事にしています。整備局には多くの若手職員がいますが、他の人と比べずに、自分らしく成長していくことが私のモットーです。



技術

福島河川国道事務所 工務第二課

佐々木 至（2018年入省）

仕事の内容

私は、新たな道路を作るための設計や工事に関する業務に携わっています。計画や調査の結果をもとに、現場の条件や経済性を踏まえて設計を行います。また、設計図面をもとに、工事の施工ステップを考慮し工事発注を行います。その際には、材料や作業量を整理し、それをもとにした費用や条件などを記載した発注資料の作成を行い、工事を適切に進める準備を行っています。

仕事のやりがい

自分が携わった設計や工事が実際に現場で施工され、形となったときに携わっていることへの実感がわき、道路が開通したときはすごく達成感があります。

仕事のモットー

地域を支える仕事をモットーに、責任感を持って、道路の早期開通に向け日々業務に取り組んでいます。



事務

総務部 経理調達課

菊池 竜ノ介（2025年入省）

仕事の内容

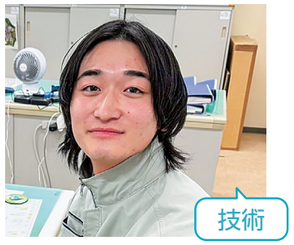
私は現在、港湾の工事や関連する業務の入札や契約の手続き全般を担当しています。契約条件の調整や企業の方とのやり取り、契約に必要な書類の確認など、円滑な契約を結ぶための業務を幅広く行っています。事業者との契約手続きに関するやり取りの際には、自分の意図や要望を的確に伝えるため、丁寧な説明を心がけています。

仕事のやりがい

自分が契約手続きを担当した案件を実際に目にしたとき、その工事の規模の大きさに驚き、発注に携われたことに大きなやりがいを感じます。

仕事のモットー

失敗したことがあっても、過度に悩まず前向きに切り替えることをモットーとしています。休日には、ドラマや映画を見たりジムで体を動かしたりしてしっかりリフレッシュしています。



技術

成瀬ダム工事事務所 工事課

小田島 嵩（2022年入省）

仕事の内容

成瀬ダム本体工事および管理設備工事の工事監督を行っています。工事監督は、工事の安全対策や進捗、品質などを確認し、工事が円滑に完了するよう調整する仕事です。私は元々、道路分野で入省していることから、ダム事業に携わるのは初めてで、最初は分からないことが多く右往左往していましたが、先輩方に優しく声をかけていただき、今ではバリバリこなせてます。

仕事のやりがい

工事監督ということもあり、現場に足を踏み入れる機会が多く、自分が担当している工事が間近で進んでいるのがわかり、やりがいを感じています。

仕事のモットー

私の仕事のモットーは笑門来福です。この言葉をモットーにすることで日々の業務で笑顔を忘れず、周囲に良い影響を与える存在になりたいと思います。



技術

南三陸沿岸国道事務所 三陸道維持出張所

三觜 恭平（2022年入省）

仕事の内容

道路を安全に利用していただくための維持管理を担当しています。日々の道路巡回による安全確認や工事の監督、地震・大雨などの災害時の緊急点検など、インフラを守る最前線で働いています。また、地域の方からのご意見や要望にも対応し、現地確認や改善策を実施します。現場を知る職員として迅速に判断し、安全な道路環境を維持できるよう取り組んでいます。

仕事のやりがい

自分が関わった工事で道路の段差が解消されたり、見やすい看板が設置されたりし、プライベートでその道を通った際に『前より走りやすくなった』と感じる瞬間があり、地域に役立っていると実感できることが大きなやりがいです。

仕事のモットー

分からないことにも挑戦してみることです。自分で調べたり上司に相談して解決できた経験は自分の知識として身につき、次の仕事に活かすことができると感じています。

Voice 若手職員からの声をお届けします！

01 東北地方整備局を選んだ理由は？



実家が国道沿いにあり、国交省の除雪機械によくお世話になっていたため、同じように地域のインフラを支える仕事がしたいと考えたのがきっかけです。また、培ってきた機械の知識を地元（もとい東北）に活かせる職場に魅力を感じたのが理由です。

福島河川国道事務所 施設管理課 **森谷 達樹**



東日本大震災で被災したことがきっかけです。道路や河川などが綺麗に整備され徐々に復興していく地元の様子をみて、住民が復興を実感でき元気づけられるような大きな仕事に携わり東北に貢献したいと考え、入省しました。

新庄河川事務所 総務課 **畠山 美那**



学生時代に土木を学んでおり、地域の防災や復興に貢献したいという思いがありました。公務員という枠組みの中でも東北地方整備局では社会の基盤づくりというスケールの大きな仕事を通じて地域に役立てる点に強く魅力を感じ、入省しました。

青森河川国道事務所 流域治水課 **蛯名 喜子**



ホームページを見ていた時に、「震災復興 進もう！次の東北へ」という言葉が目にとまりました。東日本大震災で大きい被害を受けた東北地方の復興に携わり、生まれ育った東北の安全と安心に貢献したいと思い東北地方整備局を選びました。

港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室 **松倉 佑斗**



私は、河川関係の仕事に携わりたいと思い、東北地方整備局を選びました。昔から川を見るのが好きで、地元一関を流れる磐井川の風景がお気に入りです。河川の見せる表情を守っていけるようにこれからも頑張ります！

岩手河川国道事務所 河川管理課 **千葉 隆哉**



東北全体の道路や河川など大規模インフラに携わり、地域の安全と発展に貢献できる点に魅力を感じました。さらに、東北各地への異動や地元周辺での勤務など多様な働き方が経験できる点も東北地方整備局を選んだ理由の一つです。

岩木川ダム統合管理事務所 調査課 **毛内 辰太朗**

02 東北地方整備局に入省して成長したと感じたことは？



入省当初は説明することが苦手でしたが、書類の決裁や工事現場の見学会で説明を行う経験を重ねる中で、スムーズに伝えられるようになりました。業務への理解も深まり、自分の成長を実感できました。

新庄河川事務所 大石田出張所 **山田 岳昂**



入省したばかりのころは右も左もわからず必死でしたが、少しずつ仕事にも慣れてきて、自分のことだけでなく周囲にも気を配れるようになったことが成長だと感じています。なるべくひとりで抱え込まずに上司に相談するように心掛けています！

福島河川国道事務所 東北中央道維持出張所 **宇佐美 桃香**



1年目は何も分からない状態でしたが、周りの上司や先輩方に仕事を教えていただき、仕事の流れなどを理解できました。現在は昨年よりも多くの仕事をこなせていると感じ、自分の成長を感じました。

仙台河川国道事務所 工務第二課 **大橋 采和**



入省当初は初めてのことばかりで、仕事の流れを覚えることに精一杯でした。そのような中でも、上司や先輩に支えていただきながら少しずつ、自分なりに考えながら仕事に向き合う姿勢が身についてきたと感じています。

成瀬ダム工事事務所 総務課 **林 葵**



研修や若手職員勉強会など学びの機会に恵まれ、知識が増えたことで、自分の考えを明確にし、自信を持って意見を伝えられるようになりました。日々の業務を通じて言語化力も高まり、業務で提案が採用されたときには、成長を実感でき嬉しかったです！

企画部 企画課 **神馬 凛子**



相手への説明力やコミュニケーション能力です。広報関係の業務で一般の方に現場を説明する機会が多く、どう説明すれば相手が理解しやすいのかを考え、自分で言葉を選択できるようになったことに成長を感じています。

成瀬ダム工事事務所 工務課 **赤沼 成**

03 東北地方整備局の雰囲気は？



入省当初は、何をすればいいかもわからなくて不安もありましたが、上司や先輩方が熱く教えてくれて当初の不安は吹き飛びました。わからないことも気軽に質問などできるのですごく良い環境だなと思っています。プライベートの趣味も共有して楽しく過ごせています。

青森河川国道事務所 工務第二課 **山田 明希**



入省当初は分からないことが多くかなり緊張していましたが、上司・先輩方への質問や相談がしやすく、他愛もない会話もするほど和やかな職場環境だと思います。困ったことがあれば周囲で共有し解決するといった、温かみのある雰囲気を感じられています！

秋田河川国道事務所 総務課 **齊藤 悠真**



職場は東北地方内であるものの、職員は全国から様々な人が集まっているため、人によって習慣や考え方に若干違いがあります。様々な職員との間で新しい会話が生まれたり、日々違った経験ができる明るい職場です。

湯沢河川国道事務所
秋田駒ヶ岳山系砂防出張所 **簾内 烈**



幅広い年代の職員が働いており、とても和気あいあいとしています。研修など交流の場も数多くあるため、横の繋がりが広がり、業務やプライベートの悩みなどを相談しやすい環境でもあります。休暇取得のしやすさやフレックス制度も充実しており、働きやすい職場です！皆さんもぜひ！！

南三陸沿岸国道事務所 総務課 **川崎 蒼生**

04 仕事のある生活はどうですか？



学生のころとは異なることが多く、難しいことや大変なことはあるのですが、そんな中でも休日に同期と遊んだり、上司や先輩方と話したり楽しい出来事がいっぱいあるので毎日がとても楽しいです。

釜石港湾事務所 企画調整課 **緑川 涼**



東北地方整備局では、インフラ整備を通して地域の安全と安心を守る重要な役割を果たしており、日々の業務を通じて社会の基盤を支える責任を実感することができます。災害時には迅速な対応が求められるなど、緊張感を伴う場面もありますが、その分「自分の仕事が地域の暮らしを支えている」という誇りを持つことができます。

秋田河川国道事務所 道路管理第二課 **鈴木 琥珀**



最高です！仕事をすることで安定した収入が得られ、大好きな推し活をたくさん楽しむことができます。経済的な安定は心の安定にもつながるため、私の中で仕事は生活の一部としてなくてはならない存在です。

企画部 企画課 **皆川 遥香**



社会人として自立していると感じています。入省する前は不安な気持ちでいっぱいでしたが、仕事とプライベートが両立できる今が一番楽しいです！なにより、仕事をした内容が目に見える形となることにやりがいを感じます！

南三陸沿岸国道事務所 工務課 **越戸 凱生**

05 国家公務員を目指す皆さんへアドバイス！



筆記試験の対策も大事ですが、面接練習も数をこなすといいと思います。自分の思いを簡潔にわかりやすく伝える練習は、入省後も活かせると思います。適度に息抜きをしながら頑張ってください。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

能代河川国道事務所 鷹巣出張所 **千葉 龍汰**



さまざまな地域で働きながら、その地域ならではの魅力に触れられるのがこの仕事の魅力だと思います。試験勉強は大変だと思いますが、適度にリフレッシュしながら無理せず頑張ってください。一緒に働けることを楽しみにしています！

秋田河川国道事務所 道路管理第二課 **本郷 明日香**



試験勉強は大変ですが、計画的に進めれば必ず乗り越えられます。自分を信じて、時には気分転換もしながら頑張ってください！

秋田河川国道事務所 工務第二課 **浅井 良哉**



たまにはリラックスする時間を作ったり、自分へのご褒美をあげたりして楽しく勉強してください。試験当日は緊張すると思いますが、皆さんのこれまでの努力は確実に身についています。自信を持って頑張ってください。

福島河川国道事務所 用地第二課 **戸田 裕太**

若手職員のある1日

case.1 2023年入省 湯沢河川国道事務所 湯沢国道維持出張所 松村 陽太さんの1日



仕事内容とやりがいは？

私は、現在出張所で道路維持管理および工事監督補助の業務をしております。業務の魅力として、工事監督補助があります。施工計画から携わることができ、工事が進むにつれ、設計図面どおり現地が変わっていくのが目に見えて分かり、完成した際には達成感があります。

My Schedule



8:20	**出勤** 宿舎から車で出勤
8:30	**勤務開始** メールをチェック、本日の業務を確認
9:00	**工事監督補助** 工事現場へ向かい材料や品質を確認
12:00	**昼休み** 宿舎へ帰り、昼食&休憩
13:00	**打合せおよび資料作成** 上司、受注者と工事の施工方法や進捗状況および工程について、確認・調整。工事図書の作成および受注者提出書類の確認
17:15	**退勤**

Day Off!



私生活ではバイクツーリングやスノーボード、フェスへの参加を趣味にしてます。休日にしっかり楽しんで、ワークライフバランスを大事にしています。

case.2 2022年入省 磐城国道事務所 管理課 伊藤 朱里さんの1日



仕事内容とやりがいは？

私は現在、管理課に所属しており国道の維持修繕に関わる仕事を担当しています。橋梁や舗装、トンネルなど多分野の補修に携わることができ、幅広く知識を身に付けることができます。説明する際にスムーズに受け答えができるようになり、成長を実感できるところにやりがいを感じます。

My Schedule



8:15	**出勤** 宿舎から車で出勤
8:30	**勤務開始** メールチェックと1日の予定を確認
10:00	**打ち合わせ** 受注者と業務の進捗状況確認や懸案事項について意見交換
12:00	**昼休み** お弁当を持ってきたり、現場に行くときは外食もします
13:00	**資料作成** 協議や発注関係の書類を作成
15:00	**今後のスケジュールチェック**
17:15	**退勤**

Day Off!



夏はライブやフェスなど推し活をしたり、冬は地元の友達や若手職員と一緒にスノーボードをしたり、休日も全力で楽しんでます！

キャリアパス

略歴

2003年	福島河川国道事務所	道路管理第二課　入省	（福島県）	係員
2005年	福島河川国道事務所	工務第二課	（福島県）	
2007年	岩手河川国道事務所	一関出張所	（岩手県）	
2008年	岩手河川国道事務所	調査第一課	（岩手県）	
2010年	企画部	企画課	（宮城県）	
2012年	青森河川国道事務所	青森国道維持出張所	（青森県）	係長
2015年	青森県　県土整備部	河川砂防課	（青森県）	出向
2017年	青森河川国道事務所	調査第一課	（青森県）	係長
2019年	青森河川国道事務所	工務第一課	（青森県）	
2020年	河川部	河川管理課	（宮城県）	
2022年	河川部	水災害予報センター	（宮城県）	
2024年	青森河川国道事務所	五所川原出張所　出張所長	（青森県）	管理職



青森河川国道事務所
五所川原出張所
小山 志保

新しい学びとつながり

これまで約20年間で東北6県のうち4県に勤務しました。

初めての勤務地は仕事も生活も不安はありますが、職場の先輩はみんな同じ経験をしているので、相談すると親身になって話を聞いてくれます。転勤は、様々な場所に行くことで色々な人たちとつながりができたり、新しい場所の魅力や発見など楽しい思い出ができます。

略歴

1997年	道路部　交通対策課	入省	（宮城県）	係員
1998年	酒田河川国道事務所	月山国道維持出張所	（山形県）	
2000年	酒田河川国道事務所	工務第二課・調査第二課	（山形県）	
2003年	道路部	道路計画第一課	（宮城県）	
2005年	郡山国道事務所	喜多方出張所	（福島県）	係長
2007年	三陸国道事務所	調査設計課・工務第二課	（岩手県）	
2011年	道路部	道路計画第一課	（宮城県）	
2013年	本省　道路局	環境安全課	（東京都）	出向
2015年	仙台河川国道事務所	交通対策課　課長	（宮城県）	
2017年	福島河川国道事務所	工務第二課　課長	（福島県）	管理職
2019年	企画部	企画課　建設専門官	（宮城県）	
2020年	道路部	道路管理課　課長補佐	（宮城県）	
2021年	本省　道路局	環境安全・防災課　課長補佐	（東京都）	出向
2023年	秋田河川国道事務所	所長	（秋田県）	幹部
2025年	道路部	道路情報管理官	（宮城県）	



道路部 道路情報管理官
松本 章

知らない土地が、“好きな場所”へ

引越を伴う転勤が決まった際には、家族と相談し、初めての単身赴任を決断しました。また、このことがきっかけで、マイホームを建てるという大きな決断にもつながりました。

転勤を伴う職場です。せっかくの機会なので知らない土地を楽しみたいと思っていました。特に思い出深いのは、縁もゆかりもない福島県会津地方での勤務です。歴史、文化、名所、食、人、触れるものすべてが新鮮で、自分と家族を温かく受け入れてくれた大好きな場所です。知らない土地を好きになるポイントは、①知る、②歩く、③楽しむ、④関わる、⑤自分のペースで馴染んでみることです。

略歴

2002年	仙台河川国道事務所	共同溝課　入省	（宮城県）	係員
2004年	仙台河川国道事務所	交通対策課	（宮城県）	
2006年	酒田河川国道事務所	鶴岡国道維持出張所	（山形県）	
2007年	酒田河川国道事務所	工務第二課	（山形県）	
2010年	青森河川国道事務所	調査第二課	（青森県）	
2012年	湯沢河川国道事務所	調査第二課	（秋田県）	
2014年	山形河川国道事務所	寒河江国道維持出張所	（山形県）	係長
2017年	山形河川国道事務所	尾花沢国道維持出張所	（山形県）	
2020年	酒田河川国道事務所	月山国道維持出張所	（山形県）	
2023年	山形河川国道事務所	工務第二課	（山形県）	
2025年	企画部	企画課	（宮城県）	

自分にあったステージで働き続けられる職場

独身時代は自分の可能性を広げるため、思い切って地元を飛び出し、各地で勤務してきました。仕事だけでなくたくさんの人との出会いにより、成長を実感しました。

結婚してからは、地元である山形県で地域のために貢献したいという希望が強くなり、主に山形県内での勤務をしてきました。ライフステージに変化が生じても、対応した勤務の仕方ができる、懐の深い組織です。



企画部企画課
金原 真一

若手の係員時代は道路に関する調査設計や工事積算、工事監督など幅広い業務を行ってきました。係長に昇進したときは、出張所と呼ばれるもっとも現場に近い場所で、道路の維持管理を実施しました。その後、事務所での勤務を経て、現在は本局で勤務をしています。

※略歴の（　）は配属された部署の所在県を示しています。

【 キャリアステップ 】



立　場	役　割	研　修
幹部クラス（50代）	<局課長、事務所長・副所長等> ●組織の総括	●管理技術研究研修
管理職クラス（40代）	<局課長補佐、事務所課長等> ●組織の中堅 ●組織の長として部下に適切な指示・指導する立場	●建設生産管理システム（管理職級）研修 ●管理者マネジメントセミナー
係長クラス（30代）	<局係長、事務所係長> ●さまざまな業務に対応する長として、係全体をまとめ、業務の調整や進行管理を担う ●部下職員の指導・技術的能力の向上支援	●業務マネジメントセミナー ●総務事務係長級研修 ●行政法令実務（事務） ●新任係長研修
係員クラス（20代）	<係員> ●上司の指導を仰ぎながら業務を遂行する ●日々の業務を通じて知識や経験を積み重ね、自己研磨に努める	●現場技術セミナー ●新規採用職員研修（共通・技術） ●一般事務研修（事務）　etc. 若手育成プログラム（採用～4年）

専門研修

【 出向について 】

●**出向とは**：人事交流の一環で他省庁や自治体などで勤務します。多様なフィールドで業務の経験ができます。

●**主な出向先**：国土交通本省（東京都霞ヶ関）、他省庁、県・市・町、県警察本部 など。

【 転勤に関するその他 】

●上司との面談を通じて、希望する仕事内容や勤務先、将来のキャリアパス、家庭事情など職員の意向を把握しています。勤務先や仕事内容などは、それらに配慮のうえ、決定されます。

●異動にかかる引越費用などは支給されます。

新しい場所で、新しい挑戦をしてみる。
その一歩があなたの未来をもっと面白くする。

地域によって、特色や条件は大きく違います。それぞれの地域であらゆる課題の解決に挑み、経験を積み重ねること。
それはあなた自身の視野を大きく広げるきっかけになります。

挑戦は不安とセットだけれど、その向こうにはきっと今よりちょっと成長した自分がいます。
新しい場所で、新しい自分に出会う。そんな一歩を踏み出してみませんか？

ワーク・ライフ・バランス

仕事と私生活の両立を大切にできる働き方を推進しています。柔軟に取得できる年次休暇やテレワーク制度を整え、職員一人ひとりのライフスタイルに合わせた働き方をサポートしています。育児・介護・通院などの事情がある場合でも安心して働き続けられる職場です。

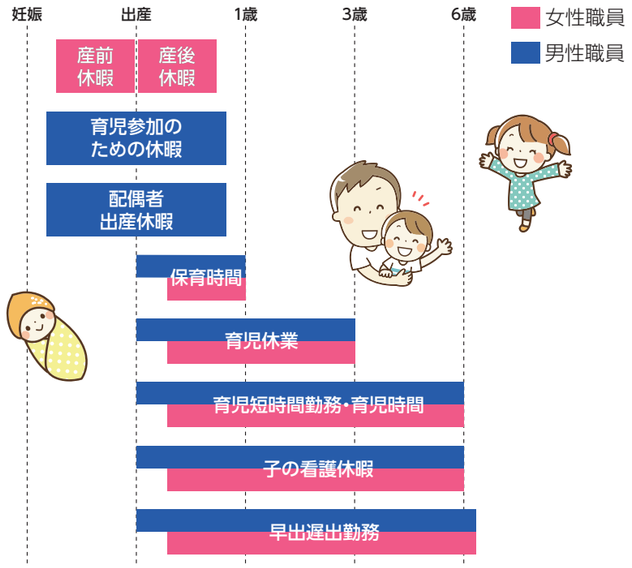
仕事と私生活の両立

▶年次休暇の取得
年次休暇は、採用の年は15日、翌年1月からは20日付与されます。15分単位で取得が可能なため、柔軟な働き方を実現できる環境です。

▶フレックスタイム制
総勤務時間を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更できる制度です。利用する公共交通機関や、家庭の事情に合わせて活用できます。

▶テレワークとの併用
自宅でオンラインで仕事ができるテレワークとの併用も推進しています。育児や介護、通勤距離など、一人ひとりのライフスタイルや状況に合わせて柔軟に活用できる制度です。

仕事と育児の両立支援制度（主なもの）



制度を活用し活躍している職員を紹介!



岩手河川国道事務所
工務第二課
小坂 理緒

Q 結婚・出産による働きやすさはどうですか?
職場としてワークライフバランスが根付いているため、男女問わずフレックス制度や育児休暇を活用している方はたくさんいます。自分に合った働き方ができるので働きやすい環境が整っています。

Q 仕事をする際に心がけていることはありますか?
子どもの急な体調不良で休まなければいけないときもあるので、自分の仕事は常に上司や同僚に情報共有しています。データの所在なども共有し、自分が不在となっても業務が滞らないように心がけています。



Q やりがいを感じるときは?
日々の業務が大きな成果に繋がっていると感じたときにやりがいを感じます。道路改築事業では新しい道路ができたり、道路が拡幅したりと目に見える成果が待っているのでとても魅力的だと思います。



Q 入省希望者へのメッセージ
制度を活用することで様々な働き方ができる職場です。将来、生活環境が変わっても生活環境に応じた働き方ができることで、仕事もプライベートも充実させることができると思います。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



北上川下流河川事務所
経理課
熊谷 元秀

Q 結婚・出産による働きやすさはどうですか?
各種休暇制度やフレックス制度、テレワーク環境が整っているので、子育てと仕事を両立することができます。ライフステージに応じた柔軟な働き方を選択できるので、男女問わず働きやすく安心してキャリアを築くことができる職場です。

Q 仕事をする際に心がけていることはありますか?
子どもの急な体調不良などでどうしても休まなければならない場合があるので、業務の優先順位を意識し、期日に対し余裕を持ったスケジュールで対応するようにしています。また、業務進捗は上司に共有し、円滑な業務執行となるように心がけています。



Q やりがいを感じるときは?
私は現在経理課で予算管理を担当しています。各種法令を遵守しながら予算執行の計画を立て、その計画どおりに問題なく予算が執行された際にやりがいを感じます。



Q 入省希望者へのメッセージ
どのような立場でも国民の安心、安全に貢献できる職場です。充実した休暇や働き方の制度を活用することで人生の様々な段階に応じた最適な働き方の選択が可能です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

人材育成（研修）

●…共通研修
●…事務系研修
●…技術系研修

※下記以外にも、機械関係や電気関係、営繕関係の研修等も実施しています。

入省1年目
●新規採用職員（共通）
●新規採用職員（技術）

共通分野
●会計・契約事務
●一般事務
●積算
●インフラDX
など

専門分野

用地
用地事務
など

道路
道路技術（調査計画）
道路技術（橋梁）
道路技術（トンネル）
道路技術（構造物）
など

河川
河川技術（計画）
河川技術（管理）
河川技術（構造物）
流域治水 など

港湾
港湾空港行政
港湾技術（調査設計）
など

係長

専門知識を習得するために各分野の研修が計画されており、担当している業務や、今後携わりたい業務を見据えて、希望する研修を受講できます。

重点的なテーマの研修例

インフラDXの浸透・定着化



【インフラDX】

若手職員の積算能力向上など基礎的技術力の習得



【基礎技術講習会】

防災・危機管理向上のための実践



【災害・危機管理セミナー】

林学出身、土木分野で活躍中!



山形河川国道事務所
工務第二課
松浦（まつうら） 友香（ともか）
（2023年入省）

学生時代の専攻に関係なく、充実した研修で新しい分野にも安心して挑戦できます!

Q 学校課程や受験区分と異なる分野で仕事を行う上での不安はどう解消しましたか?
私は、学生時代に学んでいた内容と仕事内容が異なるので、最初はできるのか不安な気持ちもありました。ただ、上司や先輩が、初歩的なことを聞いても教えてくれる環境なので、基礎的なことから専門的なことまで聞きながら仕事をすることができ、心強かったです。仕事はチームで行います。頼れるところは頼って知識や技術を吸収して仕事を進めるのが大切だと思いました。

Q 研修を受講して、仕事への取り組みや意欲はどうかわりましたか?
舗装の研修を受講した後に舗装工事の発注に携わる機会があり、学んだ内容と実際の仕事が結びつく点と点が繋がった感覚になりました。講師の方から現場の話やなぜこの素材を使っているのか、この施工方法で工事をしているのか経緯を聞くことでより理解を深めることができました。

Q やりがいを感じるときは?
自分が携わっている工事が進捗し、道路や橋が作られている現場を見ると仕事の手応えを感じ、それがやりがいにつながっています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

みんなが気になる質問に答えます！

東北地方整備局職員採用Q&A

Q 初任給は？

A

一般職（大卒程度）　**232,000円**
一般職（高卒者）　**200,300円**

※令和8年4月現在。職歴加算あり
■このほか、通勤手当、超過勤務手当、扶養手当、住居手当などが支給されます。
■ボーナス（賞与）は年2回。合計約4.65ヶ月。
■年1回の昇給

Q 勤務時間、休暇は？

A

平日／**8時30分～17時15分**
（9時15分～18時）
※（　）内は仙台市内の職場に勤務する場合

年次休暇／年間15日（4月採用者）
2年目以降20日

※1月から12月の1年間で20日付与されます。4月採用の場合、採用の年は4月から12月の間で15日付与されます。
※20日まで繰り越し可能。最大40日まで。
■特別休暇／結婚：結婚の日の5日前から結婚の日後1ヶ月までの間に連続する5日
忌引：連続した一定の期間
夏季：7月から9月の間に連続した3日
■病気休暇／負傷・疾病・生理のため療養する場合
■介護休暇／負傷・疾病又は老齢により2週間以上の期間にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をする場合

Q 宿舎はありますか？

A

あります。

各地に単身用宿舎や、家族で住むことのできる世帯用宿舎があり、駐車場も用意されています。

また、必ずしも宿舎から通勤する必要はありません。実家や賃貸アパート等から通勤することも可能です。

なお、賃貸アパート等を借りる場合、住居手当（16,000円を超える家賃の額に応じて、最高28,000円）が支給されます。



Q 異動の頻度は？

A

異動の頻度は
概ね2～3年に1回程度です。

東北地方整備局のフィールドである、東北6県の事務所や出張所などすべてが勤務候補地になります。異動の頻度は2～3年に1回程度ですが、例えば同一事務所内で配属課が変わる場合や、現在住んでいるところから通勤可能な近隣の職場へ転勤する場合もあり、引越を伴う異動ばかりではありません。また、一度勤務した場所に再び配属される場合もあります。

Q 災害が発生したときはどのような対応をするの？

A

被災箇所の復旧、通行止めなどの規制のほか**TEC-FORCEとして災害対策派遣**などの支援も行います。

管理する施設等が被災した場合は、被災箇所の復旧などを行います。

また、大雨や大雪などで災害や大規模な通行不全が発生する可能性が高いと判断された場合は、事前に通行止めなどを行います。

大規模な災害が発生した際は、東北に限らず、他の地域や地方公共団体などへTEC-FORCEとして派遣され、被災状況の調査や応急復旧など、復旧に向けた支援を行います。



通行規制訓練の様子

Q 土木を専攻していなくても、技術系職員になれますか？

A

土木を専攻していなくても、技術系職員として活躍できます。

土木以外にも電気・機械・建築などの技術分野の仕事があります。また、これら以外の分野を専攻していた方も多く活躍しており、大卒程度の試験区分には、文系・理系を問わず受験できる「教養区分」が設けられているため、幅広いバックグラウンドの方が技術系職員を目指すことができます。

入省後は、業務に必要な知識やスキルを基礎から身につけられるよう、研修制度も充実しているほか、周りの職員も丁寧にサポートしてくれるので、安心して働けます。

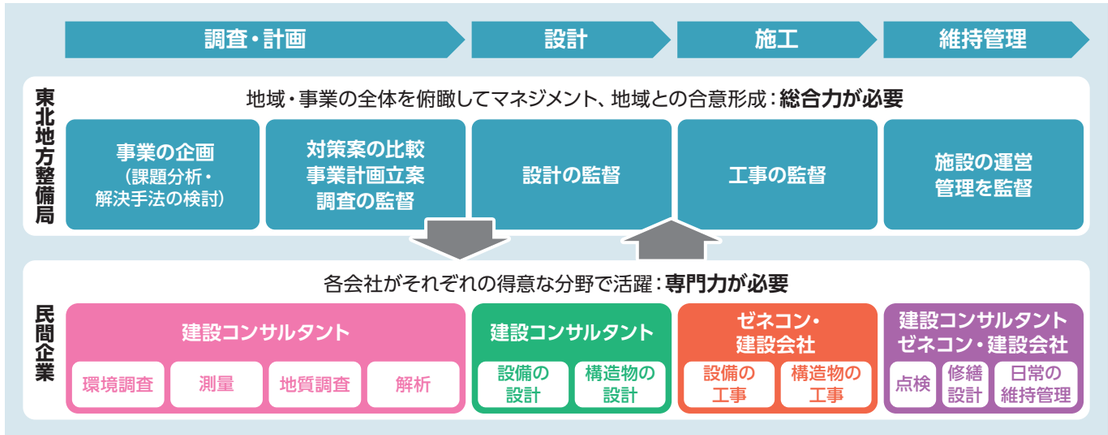
Q 民間企業との違いは？

A

事業全体に関わることができます。

民間企業は、調査、設計、施工などの各分野において、それぞれの得意分野を活かし、専門性を発揮しています。

一方、東北地方整備局は、地域や事業の全体を見渡しながら、方向性を考え、事業を企画し、形作る立場にあります。その地域にどのようなインフラが必要か、どうすれば地域全体にとって効果的かを考え、民間企業と連携しながら事業を進めています。事業の一連に幅広い視点と技術力で関わり、形にすることができる仕事です。



Q 自治体との違いは？

A

県や市町村を越えた大規模なインフラ整備を担っています。

東北地方整備局は、国道や一級河川など、一つの県や市町村を越えて多くの人の暮らしに影響する大規模なインフラ整備を担う国の機関です。道路や河川の整備といった国土の基盤となるインフラ分野を中心に、広域的で高度な技術や専門性が求められる事業を行い、東北の暮らしを支える土台をつくっています。また、県や市町村へ技術的な助言や助成、災害対応の支援などを行い、連携しながら地域づくりを進めています。

A

最新技術や新しい制度を、全国に先駆けて実際の現場で運用できます。

国の施策を担う立場として、ICTやDXなどの最新技術を活用した工事や、新制度の試行・導入をいち早く行っています。制度を「運用する」だけでなく、新しく策定し、普及する役割を担えるのは、国の機関ならではの魅力です。

A

全国規模での連携を通じて、幅広い人とのつながりができます。

国の事業を通じて全国の地方整備局や関係機関との交流・連携しながら業務を進めており、全国規模の広いつながりを持つことができます。また、時には東北以外の先進事業を見て学び、得た知見を自分たちの事業に生かしています。

その他のQ&Aはこちら

採用関係イベント

現場見学会

東北地方整備局が行う河川や道路、ダム、港湾などの事業の現場見学をすることができます。職員が事業の内容や役割を分かりやすく説明し、普段は見ることのできないインフラ内部や新技術を活用した現場をご案内します。国土交通省の現場を間近で見て、知っていただく機会ですのでぜひご参加ください。


高所作業体験（福島河川国道事務所）


シガクラ砂防堰堤見学（岩手河川国道事務所）


浅瀬石川ダム見学（岩木川ダム統合管理事務所）

インターンシップ

例年、主に高校生・大学生を対象にインターンシップ（就業体験技術実習）を実施しています。東北地方整備局の各事務所で受け入れを行い、期間は3日程度からご希望に応じて柔軟に設定可能です。実際の業務を体験することで、国家公務員の仕事について深く理解することができます。また、職員との交流を通じて職場の雰囲気や仕事のやりがいを感じることもできます。進路選択や将来のキャリアを考えるうえで、ぜひインターンシップをご活用ください。


橋梁管理業務実習（仙台河川国道事務所）


遊佐象潟道路工事立会（秋田河川国道事務所）


受注者とのトンネル工事実習（磐城国道事務所）

業務説明会

業務説明会では、東北地方整備局の仕事についてより詳しく知ることができます。対面だけでなくwebでの説明会も実施していますので、全国どこからでも参加可能です。当局が設定した時期に開催するほか、ご要望に応じて、随時の開催もしています。さらに、出張業務説明会では、学校やイベントに職員が伺って説明をします。学年や希望分野など、ご希望に合わせた内容で、仕事の魅力ややりがいを丁寧に説明しますので、進路選択の参考に、ぜひご参加ください。


OPENゼミ業務説明


出張業務説明会

業務内容はもちろんのこと、働き方や生活面、就職にあたっての疑問や不安など業務以外のことも気軽にご相談いただけます。

採用イベント情報はこちら

試験区分

大学3年生から分野に関係なく受験でき、
事務・技術双方を選択できる教養区分が新設されました！



2025年度の春試験から一般職試験（大卒程度試験）に「教養区分」が新設されました！この区分は、専門試験を課さず、一般的な教養や、速く正確に解く能力に関する試験を行っており、20歳（大学3年生など）から受験できます。最終合格後は6年間採用候補者名簿に掲載されます。また、この試験区分から入省を希望する方は、事務・技術の双方から選んで働くことが可能です。

東北地方整備局では、幅広い専門分野の職員が活躍しています。
技術系職員は、行政区分を除く全ての区分から受験が可能です！

一般職試験 大卒程度試験

試験の区分

行政東北地域　教養東北地域

デジタル・電気・電子、機械、土木、建築、物理、化学、農学、農業農村工学、林学

一般職試験 高卒者試験

試験の区分

事務東北

技術東北（電気・情報系、機械系、土木系、建築系）農業、農業土木、林業

※2025年度は「農業区分」の試験を休止

：主に事務系　：主に技術系